

修正あり

(地域)

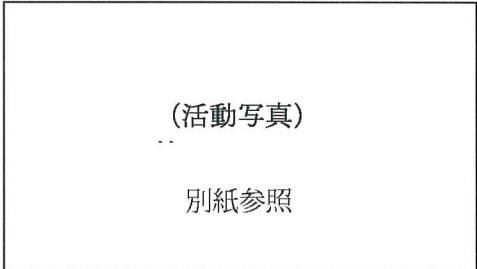
平成 22 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「100万本のコスモスガーデン」整備事業		
事業主体 (連絡先)	治部坂高原を美しくする会 代表 伊藤義寛 (事務局 治部坂観光 内)		
事業区分	(5)環境保全及び景観形成に関する事業 (6)ア特色ある観光地づくり(7)市町村合併に伴う地域の連携の推進		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	2979 千 円	(うち支援金:	1969 千 円)

事業内容

夏の治部坂高原の魅力づくりとして、冷涼な気候をいかしたコスモスの海をスキー場ゲレンデに描き出す。栽培面積、内容の充実を図り、拠点景勝地としてアピールする。

地域の協力とともに、広く一般にコスモスボランティアを募り、治部坂高原への通年リピートを促進。それをはずみに治部坂ファンの拡大、来場者の増加をめざす。



【 】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

コスモスガーデン整備—栽培面積の拡大を図った。前年 6ha から 7ha へ。第 1 リフト山頂駅降り場から上部(第 2・3 ゲレンデ)には花の植栽がなかったが、新たにユリを中心に赤ソバ、白ソバ、ブルーキャットミントの栽培地およびフェンスへのヘブンリーブルーの栽培箇所を設け、コスモスガーデンに賑わいを添えた。植栽実施にあたりボランティアの協力者を募り、対前年 3 割増をめざした。実施日が悪天候で当初計画の 4 回が 3 回の実施となったにもかかわらず、前年より 1 割増の 60 名を数え、小学生未満から高齢者まで幅広い年齢層が参加。

【目標・ねらい】

- 園内の花の栽培面積の拡大
- 種類の増加
- ボランティア協力者の増加
- リピート来場者の増加

自己評価 (目標達成率) 【 B 】

今後の取り組み

今回の取り組みにより、新たに導入したユリ園は、開花時期にムラが出たが、鮮やかな開花状況が来場者に好評だった。また栽培ボランティアは中京方面からの参加が多く、開花時期に作業の成果を見に知人を連れて訪れてくれるケースも多く手応えを得た。

こうした成果から、次年度も引き続いて栽培拡大箇所の充実を図り、夏場の花の名所として治部坂高原をアピール、定着させていきたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

治部坂高原を美しくする会 事業現況写真（1）



コスモスボランティアの作業風景



小学生も作業に汗



最盛期、コスモスガーデンを一望するリフトを運行



先行して開花しはじめたキバナコスモス

治部坂高原を美しくする会 事業現況写真 (2)



拡張栽培し咲き始めたたユリ園の様子



ヘブンリーブルーのフェンス



ユリ園から大川入山方面の眺望



ユリ園内を散策する家族連れ

100万本のコスモスガーデン チラシ、ポスター



A4 サイズ 25000 部

配布先：国道 153 号道の駅／信州平谷（平谷村）、
 どんぐりの里（愛知県稲武町）、新城市道の駅、
 ねばーらんど（根羽村）はじめ国道沿線飲食店、
 昼神温泉郷内旅館ホテル、飯田市観光案内所、
 下伊那地方事務所ロビー、飯田市内の商店、
 ガソリンスタンド等



A1 サイズ 200 部

配布先：国道 153 号道の駅／信州平谷（平谷村）、
 どんぐりの里（愛知県稲武町）、新城市道の駅、
 ねばーらんど（根羽村）はじめ国道沿線飲食店、
 昼神温泉郷内旅館ホテル、飯田市観光案内所等